

## 令和5年度 第4回まちづくりミーティング

令和5年10月21日（土）14時00分～

金沢美術工芸大学 多目的ホール

小立野、崎浦、田上、俵校下（地区）

### (1) 市長あいさつ

#### 【村山金沢市長】

皆さん、こんにちは。今日は、お足元の悪い中、そして土曜日のこういった時間帯にお集まりをいただきまして、ありがとうございます。

まちづくりミーティングでございますけれども、昨年は金沢の未来を語るまちづくりミーティングという形で、これから10年後の未来を見据えた都市像をつくるためにどのようなことを考えていったらいいか、地域の皆さんとともに語り合おうということで、全ての地区で開催させていただいたところであります。

今年につきましては、従来のスタイルに戻させていただきまして、地域の課題を地域の方とともに考えていこうと、そういうようなスタイルとさせていただきました。私になってからは初めての開催ということになりますので、よろしく願いいたします。

さて、今回開催のこの金沢美術工芸大学は、今月1日から供用開始ということで、早速、学生の皆さんがこちらにも足を踏み入れ、そして活動の場となっております。

この新しいキャンパスは、学生がより創作活動に集中できる空間を目指すと同時に、その活動を発信することにも重点を置いて整備をいたしました。ぜひ地域の皆様方にも大学のほうにも足を踏み入れていただきたいと思っております。

早速ですけれども、来週10月25日の12時10分から、ポップアップコンサートというものを行います。12時10分から50分という短い時間ですが、表のアートプロムナードでの開催だったと思いますけれども、ぜひお越しいただければと思います。

本日は、このキャンパスが立地したこと、あるいは移転した跡地の活用のごも議題に上がっています。様々な課題につきまして、会場にお越しいただいた皆様方から率直なご意見を聞かせていただければと思います。

限られた時間ではございますけれども、有意義な時間となることを期待して、そして私のほうも、そのような回答ができるようにお約束をして、私の挨拶といたします。

## (2) 地域代表あいさつ

### 【小立野町会連合会 会長】

東部地区まちづくりミーティング開会に当たり、本日出席の4町会を代表し、一言ご挨拶申し上げます。

まず、村山市長様には、今月7日に湯涌で開催されました主要地方道金沢湯涌福光線の整備促進期成同盟会にご参加いただきまして、本当にありがとうございました。湯涌街道に面する我々4町会、この道路建設の計画が実現するよう応援していきますので、市当局のご支援、ご指導のほど、ひとつよろしく申し上げます。

さて、今市長よりお言葉がありましたが、今月から講義が始まりましたこの美大新キャンパスにおいて、今回のまちづくりミーティングが開催されましたこと、何か新鮮な気持ちでございます。美大の新キャンパスは、門なし、塀なし、開かれた学舎で、地域の住民も楽しみにしております。本校舎の向かい側には既に県立図書館がオープンしており、この2つの施設が向かい合ってそびえ立つ、まさに文教の地にふさわしい様相を示しております。16日には、天皇皇后両陛下をこの地にお迎えしました。

本日の東部地区の4校下のミーティングですが、小立野、崎浦、俵の各地区では、少子・高齢化の悩みがあります。一方、田上地区では、金沢大学の角間キャンパスや、近辺には私立大学、そして高等学校があり、山側幹線の道路周辺には商業施設が増えています。新しい住宅地の建設も始まっており、人口増をたどっており、今年、3校目となる小学校も開校しました。

我々は、居住誘導区域に位置づけられており、住みよい環境にあると自負していますが、冬期間の積雪量は、市中心部や駅西地区と比べ時には倍以上の積雪量を見ることがあります。生活道路の除雪には、高齢化もあり苦労が増している現状です。

本日の新聞報道では、第3次路線の除雪出動基準を60センチから30センチに引き下げるという報道が出ていましたが、地域の積雪量を考慮した除雪計画を切望いたします。

10月29日の金沢マラソンは、山側環状道路を走り抜けますが、東部地区9つの町会連合会並びに公民館が力を合わせて沿道やスポット応援で選手を元気づけたいと思っております。

それでは、ただいまより共通課題並びに各校下からの課題を順次発表させていただきます。本日は、よろしく申し上げます。

### (3) 地域課題の説明、課題に対する市の方針等の説明、討議

#### ①美大跡地の利活用について（小立野）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

#### 【小立野町会連合会】

局長にお伺いしたいんですけれども、今の説明の中で、金大に対しては、あくまでも一括売却という方向で進められるということなんですけど、我々はできる限り市で所有していただいた空間にこういったものを整備してほしいということで要望しているんですけど、その辺は無理なことなのでしょうか。

#### 【村角都市政策局長】

金沢大学のほうには、美大のあった敷地全体を売却する方向で話を進めています。その中で、金沢大学のほうでキャンパス構想をつくっていただいておりますが、その中にどういった広場空間を取り込んでいただけるのか。そのことについて事務局側と協議を進めているところでございます。

まだ具体のイメージは我々のところにも上がってきておりません。それが出てきた段階で、今、連長さんのほうからご説明があった、この地元だけではなく広く市民が利用できる、それから健康増進にも資する、そういった観点を踏まえながら協議を重ねていきたいと思っています。

#### 【小立野町会連合会】

一番最後にご説明になった、定期的に金沢大学と打合せを行っていきますというのは、具体的にどれくらいのスパンをお考えでしょうか。半年とか3か月とか、いろんなスパンがあると思いますが、どのようなスケールでお考えなのか、お答えください。

#### 【村角都市政策局長】

意見交換ですけれども、既に進めております。定期的にと申しましたのは1か月に1回ということもあれば1か月に複数回ということもございます。それぞれのところで課題が

出てきた段階で、お互い連絡を取り合って協議を進めています。

今後も恐らく具体の整備構想、金沢大学さん側の整備構想の熟度が深まるにつれて、その意見交換の回数も増えてくるかなと思っています。我々も十分そうしたものを注視しつつ、場合によっては、ある程度まとまった段階では申しましたが、タイミング的に必要に応じて、また地元の皆様にもお声をかけさせていただきたいなと思っています。

**【小立野町会連合会】**

進展のあった時点で、私たちにもその辺をお知らせしていただきたいと思ひますし、また、私たちの意見も組み入れていただくようなことで、お願いしたいと思ひます。

**【村角都市政策局長】**

今年の2月だったでしょうか、一度説明会をさせていただきました。ちょっと分かりづらい内容であったのではないかなというふうに思ひます。それにつきましては、当日、会場のほうで金沢大学もその旨、地元の声をお聞きしています。我々も、その後すぐに金沢大学のほうに、我々市としても思ひたことを伝えさせていただいております。その後、今回のこのご要望につきましても、改めて先方にも既に伝わっております。

なので、向こうのスケジュール感の中に組み込んでいただけるように、また定期的に意見交換も重ねながら、その都度、手遅れにならない段階で我々も意見交換を重ねて協議をしていきたいというふうに思ひます。

どのような形になるかは、この場では申し上げることはできません。100%地元のご要望が反映できるともお約束は今の段階ではできませんけれども、なるだけ住民の方にも開かれた、市民全体にとっても開かれたような空間が創出できるように、金沢大学のほうと協議を進めていきたいと思ひしておりますので、よろしくお願ひいたします。

**②災害時の避難場所に新金沢美術工芸大学の指定を（崎浦）**

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願ひます。

**【崎浦地区町会連合会】**

今の中で、準拠点になる場合、震度5以上でない駄目ということですか。

**【上野危機管理監】**

ここ新美大に関しましては、拠点避難所ではなく指定避難所として位置づけております。先ほど申し上げましたのは、幸い崎浦地区さんにおかれては、洪水や土砂災害など雨に対して強いエリアでありますので、新美大が避難所として使われるのは、震度5弱以上の大きな地震が発生した場合と想定されますことから、ご説明させていただきました。

繰り返しになりますが、そういった大きな地震が発生した場合には、こちらの新美大を含め、すべての指定避難所が開設されますので、崎浦地区としてあらかじめ新美大を準拠点避難所と位置づけ、地区の皆さんにお伝えしていただいてもいいのではないかと考えております。

**【崎浦地区町会連合会】**

了解。ありがとうございました。

**③第5週目の資源回収について（田上）**

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、  
レジュメを参照願います。

**【田上地区町会連合会】**

今説明のありましたごみ出しルールのパンフレットなのですが、一般世帯のほうには年に1回、回ってきます。先ほどちょっと話しましたように、アパートに住んでいる大学生については、どういうふうな形でパンフレットを配っているのかということが一つと、アパートを管理する管理会社のほうに委託をして、3月か4月頃に新しい学生が入ってきますね。アパートを借りるときに、一緒にそのパンフレットも管理会社のほうに委託をして配っていただけるという、そういう方法を取っていただくというのは可能ですか。

**【加藤環境局長】**

ご指摘のように、学生さんへのごみ出しルールの周知や徹底は、私どもとしても大変重要な課題だというふうに思っております。地域のご負担に直結する話でございますので、今ほどのお話も、一度持ち帰って担当課と検討させていただきたいと思っております。

#### ④町会の活性化に向けた区域の見直しについて（俵）

「地域課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

##### 【紙谷市民局長】

今ほど俵地区の連長さんのほうから、地域の課題についてご説明をいただきました。

俵地区での課題でございますけれども、担い手不足でなかなかイベントなどにも人が集まらないということでございます。

これは少子・高齢化が進展していく中で、全国的に同じような状況にあるのかなど。特に中山間地域ではそれが顕著になってきているのかなというのは把握をしているところでございます。

その上で、市といたしましても、例えば今年度、試行ですけれども、学生の方、ここは文教地区でございますのでいろんな大学が集積しておりますけれども、学生の方に地域のイベントに参加してもらうといった事業であったり、あと地域コミュニティ活性化事業ということで、夏祭り。単なる夏祭りじゃなくて、俵地区にもいろいろ伝統的な引き継ぐべき大切なものがたくさんあると思いますけれども、そういったものを生かしながら、PRしながら次世代に引き継ぐということも含めたイベントの開催に対して助成をさせていただいているというところでございます。

そういった形で、市としても、これまでもできる限りのことをさせていただいておりますし、今後もこういった課題も踏まえながら、しっかりと対応していきたいと思っております。

##### 【田上地区町会連合会】

今の中山間部の人口減少の問題について、現状として我々が把握しているところでは、中山間部全体が同じ悩みを持っているという、そういう現状があります。医王山地区でもしかり、俵地区でもしかりということで、基本的に人口が減少していくということが問題であって、一時的にイベントで学生を集めて一時的な活性化ではなくて、永久的な増加を指向しないと町は消滅していくという、そういう悪循環になっていると思っています。大きく見れば、能登も同じような状況になっていると思っていますけれども。

そういう中で、今、移住をして新しい若い人が入っていきこうとしたときに、畑が近くにあって、野菜も作ったりして、そういう生活を望んで移住するという話を結構最近聞くわけですね。そういう中で、新しく住むためには家を建てないといけないということで、市街化調整区域はそういうわけにいかないという縛りがあるわけですね。そういう問題を同じように抱えていて、何とか移住者がいた場合に、部分的に許可するようなことができないか。市街化区域の調整というのは、大きな広がりでもって環境を維持するという目的はあると思うので、そういうことも考慮しながら特別区域を設けるなり、市が少し前向きに検討する。同じ悩みを持っているということ、もう少し何とか改善する方向性を見つけていただけないかなと思うんですが、いかがでしょうか。

#### 【村角都市政策局長】

市街化調整区域の話になりますと、本来、都市整備局という形になります。ただ、今日いませんものですから、私のところでお答えできる範囲でお答えをさせていただきたいというふうに思います。

特に中山間地域における市街化調整区域のお話につきましては、昨年来、こういうミーティングを重ねてきておりますけれども、同様な話をお聞きしています。都市整備局でも共通課題としまして、市としても認識しているところだと思っています。

どのようなことを今検討しているのか、しようとしているのかにつきましては、私のほうからお答えするわけにはいきませんが、我々都市政策局、まちづくりを担っているポジションの人間といたしまして、少し中山間地域の活性化についてお話をさせていただきますと、移住定住という先ほどキーワードが出てまいりました。そこには、家を建てられる建てられないというお話もあるんですけども、今そこにいらっしゃる方が外に出ていわずに、子供を育てる段階になっても定住し続けられるように、どういったことができるのか。地域の魅力づけをどうするのか。

また、首都圏から地域おこし協力隊という制度もございます。そういったことで呼んできて、こちらのほうに来ていただいて、地域のほうで地域振興に関わっていただくためにはどうすればいいのか。

そういったソフトの面からも、我々都市政策局とすれば、中山間地域の活性化に向けたまちづくり振興について議論を重ねているところです。

人口減少が非常に顕著だということも承知していますし、これからはそれが恒常的にな

っていくという強い懸念を持ちつつ、我々としても精いっぱいいろんな議論を重ねていきたいというふうに思っています。

今日は私からのご回答になりますけれども、お許しいただければと思います。

#### 【小立野町会連合会】

今たまたま都市政策局長さんからお話があったので関連で、私らのところは中山間地域ではないんですけれども、高齢化、空き家、独り暮らし、非常に増えているんです。中山間地域は当然のことながら、私どもよりは先にそれが先行している。特に能登なんかは、もう何十年も前からそういう状態に陥って、先行して先進地です。

金沢市内も中山間地域と同様になってきて、我々のところもなっています。

なぜかといいますと、ちょうどこの辺、土地区画整理事業、昭和30年代、40年代にされて、どっと入ってきました。今、私60代ですけれども、同級生はほとんどいません。みんなどこかへ行っちゃって、いません。空き家とか独り暮らしが非常に多いです。

その方々に、去年福祉の関係でアンケートを取ったんですけれども、寂しくて、危惧している、不安であるという方が非常に多いんです。実際、町会は127世帯しかないんですけれども、23世帯が独り暮らしで、2人の高齢世帯もたくさんありまして、空き家もいっぱいあって、福祉施設に入って空き家になっちゃって、いろいろ困った問題になっている。

都市計画では20年前からコンパクトシティということで、駅前とか武蔵、マンションがどんどん振興しています。私らのところは吸い取られていっているという思いです。

特に俵、田上、同じだと思っんです。

そういう都市計画の考え方、誘導されてきたということもありますし、今後そういう独り暮らしとか高齢化は、小立野、俵も同じだと思っんですけれども、どうやっていくか具体的に各部局間で連携というのがないのではないかなと思っています。

この間、除雪のことが町内で話題になりまして、道路管理課へ行きました。独り暮らし、高齢者が増えています、どういうふうに対応しますかと尋ねても、「それはほかのところですよ。」とか、「よく分かります。大事ですけども、私からは何も言えません。」という回答が返ってくる次第です。私、縦割りになっているんだなということを実感しました。

お役所は国も縦割り、県も市も同じでしょうけれども、だんだん国のほうは縦割りがなくなりつつあります。市のほうも縦割りをなくして、そういうふうな施策的なもので、何か地域の相談に乗っていただけるものがあつたらいいなと思います。



**【村角都市政策局長】**

空き家であったりひとり暮らし世帯が増えているという現状は、中山間地域に限らず、市全体もそうかと思えます。中心部もそういう状況は発生しています。いわゆるドーナツ化現象といいますか、だんだん郊外に移っていく。また、その郊外というのは中山間ではないですね。中間地に、新興住宅街に出ていっていらっしゃるということだと思います。

市全体のまちづくりを進めていく必要があるというふうに思っています。

移住定住という観点につきましては、全国の地方都市が恐らく移住定住の課題を抱えている。人口減少の課題を抱えていると思えます。そうした中で移住定住を進めていくときには、ほかの地方の都市と差別化できるぐらい魅力のあるまちをつくっていくということが必要だと思います。それは、まちづくりだけではなくて、福祉、環境、教育、様々な面で施策を充実させていく。そこに人が集まってくる。

そういった都市の魅力を高めていくことが必要だと思っておりますので、今、村山市長になって、新たな都市像の策定を進めています。そうした都市像を掲げ、具体の施策を進めていくことで、金沢のまちの魅力を高めて求心力を培っていくことが必要かなというふうに思います。

もう1点、庁内の連携についてご指摘を受けました。今日、5名の局長がおりますけれども、これ以外の局長も同じ考えを持って、横の連携を密にしながら進めていきたいというふうに思っています。一つの部署で承ったお話について、その部署でなかった場合には関連部署のほうに話を回す、通す。これは縦割りというか、それぞれ専門性を持った部署ですので、そういった横の連携を十分密にしながら進めていきたいと思えます。

これからもその辺りに注意をして取り組んでいきたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。

**【上野危機管理監】**

先ほど俵地区さんから、人口減少のために防災訓練の実施などもなかなか難しい状況だとお話がありましたので、そのことに関してお話ししたいと思います。

私どもの危機管理課では、町会さん等が実施する防災訓練につきましては、職員を派遣してお手伝いすることも可能です。また、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、本市のかがやき発信講座という位置づけで、防災出前講座も実施しております。

ちょっと自慢になりますが、最近、住民の皆さんの災害に対する意識が高まっていることを受けまして、いろいろなジャンルがあるかがやき発信講座の中で、私どもの防災出前講座が人気ナンバーワンとなっております。今年度既に約50回実施しており、年度内には多分80回ぐらいに達すると見込んでおります。そういった防災出前講座も実施しておりますし、また、訓練についてお手伝いできることもあると思います。地域の皆さんにとって少しでも参考になることがあればお力をお貸ししたいと考えておりますので、ぜひ私どもまで遠慮なくご相談いただければと思います。

#### (4) 共通課題についての討議

高齢化社会における地域の活性化をどのようにするか

・・・元気で生き生きと過ごせる地域づくり・・・

「共通課題の説明」及び「課題に対する市の方針等の説明」については、レジュメを参照願います。

##### 【田上地区町会連合会】

地域サロンとか老人クラブの活用によって、いろいろ交流の場が増えるのかなというの  
は認識しております。

老人クラブは、多分かなり活発にされているところもあるんでしょうけれども、老人クラブをつくと、クラブを運営しないといけないという運営管理の業務が出てくるわけですね。それを誰がやるんだという話になって、運営する人がいない、管理する人がいないということになると、老人クラブをつくることができないというか、前向きに老人クラブをまずつくることから遠慮してしまうという、こういうジレンマがあって。私の町会もそういう状態で、つくれ、つくれと言うんですけども、じゃ誰が運営するんだという話になって、私はせんよという話になると、まず立ち上げられないというところがあって、その辺りはどういうふうな認識をされておりますか。

誰か手伝ってくれば。若い人が手伝ってくれる環境があれば、ついていけることもあ  
るのかなと思ったりするんですけども、その辺りはいかがでしょうか。

##### 【山口福祉健康局長】

その辺のところに問題があるというようなことも老人連合会さんからも聞いておると  
ころでございますけれども、老人クラブの活動をご自分たちで行うことによって、それが

自分たちの健康づくりにまずつながりますし、そこで頭を使っているんなことをやるというようにことが認知症予防等にもつながりますので、まずはご自分たちの力で何とかするというようなことを考えていただきたいなというふうに思っておりますし、それを地域の若い人たちが助けるというような仕組みができればいいなと思っておりますけれども、その辺の仕組みづくりも含めて、地域のほうで少し知恵を出して、アイデアを出してやっていただきたいなというふうに考えております。

#### 【崎浦地区町会連合会】

崎浦地区社会福祉協議会の会長をしております。

日頃の社協の活動におきまして、大人数よりも少人数のほうがまとめやすいというか、動きやすいというようにございます。市の社協、市等からもいろいろご指導をいただきながら、我々地区社協におきましても、町会連合会さんだとか民生委員をはじめといたしまして、非常に協力をいただきまして活動しております。

その中で、いろいろと気が付くことがございまして、一つは、以前、福祉バスというのがございました。最近もあるわけですがけれども、今までよりも現在の福祉バスを借りる条件が非常に厳しいと私は思っております。例えば、20名以上でないとバスは出せないとか、あるいは町会やその団体の規約がないと駄目だとか、写真をつけないと駄目だとか、いろいろな条件があるわけです。

こういった厳しい条件を解除というわけにもいかんと思うんですけれども、ある程度やわらかくしていただけないと、なかなか活用できないというのが現状でございます。

そういった意味から、せっかくの補助をいただきながらやっている内容が進まない。最初に申しました少人数でやるのが非常に効率的で実はよろしい。特に高齢者に対応するような場合には非常に効率的にいけると私は思っているんですが、そういう意味からすると、たまたま今の場合には大きなバスじゃないと駄目じゃなくて、小さなバスでもよろしいですから、10人ぐらいでもお願いできないかなと。このような希望を実は持っております。

もしよろしかったら返事をいただければなど、このように思います。

#### 【山口福祉健康局長】

福祉バスのご利用につきまして、いろいろと条件が厳しいというように話でございました。今すぐ、今この場でどうこうするというのはお答えできませんけれども、いろいろ地

域の方からのご要望をお聞きしながら、こういった制度の見直しが可能か、検討させていただきたいと思います。

## (5) その他質疑応答

### 【小立野町会連合会】

除雪のことなんですけれども、新しく3次路線の除雪が早まってくると。すごくいい取組だなと思っています。

ただ、将来的に心配しているのは、平成10年以降、公共事業が激減していった半分以下になって、建設業の業者の数が減って、除雪機械を扱うオペレーターがほとんど今はいなくなって、そこで国交省のほうはICT建機、リモートコントロールといいますけれども、除雪というのは熟練したオペレーターがしないとなかなかできないという状況。

今はいいですけれども、将来的にはそんなふうになっていったら、業者頼みの除雪というのは行き詰まるのではないかと。例えば、町会で機械を購入して機械除雪するというような可能性もあるのかなと思っていますけれども、そう考えていっても、その作業をするオペレーターが高齢化しているとか、誰がそれを扱うとか。私ら東部地区は金沢市内でも雪の非常に多いところなので、多分皆さん困っていると思うし、将来的な除雪も考えていくと、ちょっと危うい気がしてならないんです。

今後そういうふうな、市の中でも町会と連携した何か除雪のシステムとか、先進事例とかいろんなものを教えていただいたりとか、いろんな部局が連携して備えていくことも必要かなと思っています。

### 【村山金沢市長】

非常に答えにくくて、これは土木局の担当ということになって、誰も関係するところはないので、私のほうから把握している範囲をお答えさせていただくと、来週、10月26日に除雪対策会議というのをやまして、そこで一定の方針を決めさせていただきます。その関係の記事で、除雪路線、第3次路線を30センチにということが新聞等で先に報道されたのかなと思っています。

金沢市で平成10年以降の公共事業費、確かに落ちてはいるんですけれども、それを落とさないようにと、このところ公共事業については確保する方向になっています。

しかも、これは北陸特有の事情だと思うんですけれども、公共事業がなくなっていくこ

とによって土木建設の企業がなくなっていく、結果的に冬の除雪ができない。そういう巡りになっていくことをある意味防いでいこうというような意図が中にはございます。

そういった形で、除雪業者の確保とともに、除雪のオペレーターの維持、育成のための事業を今年度行っております。これによって確保できた人数があるのと、加えまして除雪業者、あるいは除雪オペレーターの掘り起こしを今回行いました。10月26日の発表のときには、安心していただけるような、これまで以上のことができるかなと思っています。

加えて、私のほうから指示を出して、北陸各県の除雪の状況について、どのような対策を行っているか、我々が学ぶべきようなことがあれば、そこは意見交換をして取り入れるようにということを行っていますので、早速これが入れられるかどうかは分かりませんが、除雪対策について、より効率的なものを考えていきたいと思っています。

そして、町会が主体となつての除雪について。これは毎年、上限を決めておりましたけれども、これを除雪の対策本部を設置するごとに上限を決めるということで、例えば12月に大きな雪が降っても、これから1月、2月に降るかもしれないから除雪を頼めないということにはならないように、12月に降って、そこで除雪業者を頼んだとしても、次のときにまた対策が打てるというような形に変えさせていただきました。

こういったところなどを中心に、また今度10月26日に決定をさせていただきたいと思っておりますけれども、除雪について、市民生活が滞ることのないように対策を打っていききたいと思っています。

#### 【小立野町会連合会】

これは小立野だけの問題じゃないと思うんですけども、今朝の新聞報道ですけれども、富樫公民館の建て替えに絡み、地元負担が1世帯当たり5万円という記事で、大変大きな金額が出ていました。地元負担の軽減、金沢方式の在り方について、教育長の談話もございましたが、ぜひ前向きに検討していただきたいと思っております。

我々も公民館の建て替えということが何年か後に来るんですか、試算しますと1世代当たり7万円ぐらいの負担というような計算になりまして、果たして皆さんの賛同が得られるかどうかということも考えております。ぜひ地元負担の減額、金沢方式の変更という点につきまして、積極的な取組をお願いしたいと思います。

#### 【村角都市政策局長】

金沢方式につきまして、ご意見をいただきまして、ありがとうございます。

先ほど来、課題として上がっておりますけれども、人口減少であったり少子・高齢化であったり、あるいは町会加入率の低下ということも相まって、例えば公民館を建て替える、児童館を建て替えるときの地元負担が大きくなっているというお話は、富樫地区に限らず、ほかの地区からも多々聞いているところでございます。

金沢方式は、これまで長く金沢のコミュニティの維持形成に関わってきた非常に大切な仕組みだと思っておりますが、先ほど申しましたような昨今のコミュニティを取り巻く環境の変化によって、なかなか維持が難しくなっているのではないかと感じています。

現在、庁内でプロジェクトチームを設けて、いろんな部署が関わってくるものですから、意見を集約しながら課題を整理し、今後の方向性について検討を進めているところでございます。今の段階で、どのような形になるのかというところまでは、具体の案はまだお示しすることもできませんし、我々の中で正確な答えを持っている段階ではございませんが、金沢方式の今後の持続性、持続していくためにはどのような仕組みにすればよいのかについて、さらに庁内で具体の検討を進めていきたいと考えているところでございます。

#### 【小立野町会連合会】

私の町内は兼六園の上り坂から一番近いところで、公共の建物がたくさんあります。

そして最近、ごみ出しのルールの中で、私、ごみのパトロール員もやっております、どうも見ていると、ごみ出し方の本、あれがあまりにも細かく細分化されて過ぎているんですよ。というのは、最近黄色いシールを貼ったのがよく出ています。植木鉢、衣紋掛け、そういうものが出ているんですよ。そして市役所のほうに電話すると、それは火曜日、金曜日の生ごみに出してくれというんですよ。そして、もちろん有料袋に入れて。

地域の方はそれが理解できないんですよ。だんだんと高齢化になって。それを何かちょっと考えてほしいといって、そして私、市役所からリサイクル袋をもらっているんですよ。それで、選別して火曜日、金曜日に出すと処理できるんです。

だから今度の月2回の日は、26日火曜日ですから、立ち番をしようと思っています。一時はシルバー人材センターに頼んで立ち番してもらったこともあるんです。それから、市役所の方にもお願いして、2人腕章をはめて来られました。なかなか田上さんも言うように、町会長は困っているんですよ。私ら美化委員としては、手当を出して、どうか処理しているという感じです。

それから、さっき別の方が言われました除雪の件です。去年も2回、公共のところは民間のブルが来てやっています。狭いところは町内でやりましょうといったら、何とかという規約、条件があって、非常事態宣言の間はいいんですというんです。

ところが業者がないんですよね。それなら誰でもすればいいかといったら、排雪というかあれは難しいという。町内で除雪の機械を使おうと思ったら、誰がする、どうしてやる、どこに置いておくと、またいろんな条件があって、雪が融けるまで待つ、それしか解決方法がないみたいな感じなんです。

こういう場所で言うのはなんですけれども、最後に一言だけ言わせてもらいました。

#### 【加藤環境局長】

ごみの話でございます。私も住まいの町会の役員をやっておりましたので、町会の集まり、役員の集まりに行きますと、必ずあそこのごみをどうする、ここをどうする、ここのごみステーションはお行儀がいいけれども、あそこのごみステーションは、というのがまず枕詞でございました。

大変苦慮しておられることを本当に申し訳なく、また、ありがたく感じております。

絶対の解決策というのが、私の町会でもなかなかなくて、おっしゃったようなことしかできませんでした。しかしながら、一部の方にご負担をおかけするのではなく、町会皆で解決していかなければいけないという共通認識の中で、私どもの町会ではうまく事が進んだということもございました。そうではない町会もあろうかと思えます。

今ほどご指摘があったように、私どもの職員も、ご連絡いただければ、一緒になって解決するために巡回指導を行っております。

直ちに何かができるということではございませんけれども、皆さんと課題について共有しておるつもりでございます。ご指摘、ご報告いただければ最大限の対応をしてみたいと思っておりますので、今後ともどうか引き続きご協力をお願いしたいと思います。

#### 【司会】

除雪の件のお話でございましたけれども、こちらにつきましては、所管する土木局の道路管理課のほうにお話のほうをお伝えしたいと思います。ご了承ください。

#### 【小立野町会連合会】

美大跡地の利活用の件で、金沢大学とのお話が進んでいるというふうにお伺いいたしましたけれども、これは一応タイムスケジュールに基づいてされていると思うんですけども、大体いつ頃までに、どの辺までの話を進めていかれるか。その辺、お答えできることがあったらよろしくお願ひいたします。

**【村角都市政策局長】**

金沢大学のほうで整備計画の策定を進めているところですけども、年度末までに計画をつくるというふうにお聞きしています。

ただ、先ほど来から意見交換会の話も出ておりましたけれども、年度末にそれを我々市のほうに示されてもどうにもなりませんので、そういった意味で定期的に意見交換を重ねて、ある程度まとまった姿が見えてきたときに、また地元の皆様にはお声をかけさせていただきたいというふうに思っています。

その後の話になりますけれども、現在、建物が残って、旧キャンパスが残っておりますので、今年度、解体に向けた設計を進めています。今年度、設計がまとまりましたら、次年度以降、速やかに解体工事に入っていこうというふうに考えています。

解体工事につきましては、1年ではなく複数年かかってこようかと思っています。工事に入りますときには、当然、周辺の方々、地元の皆様にも説明をさせていただいて、あまりご迷惑にならないように工事を進めていきたいというふうに考えておりますので、またその節には声をかけさせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

**【小立野町会連合会】**

美大の解体の件、お伺いいたしましたけれども、私、美大の当該町会に当たりまして、美大を解体したときに、その解体したもの、そういったものを運び出すルートがないんですよ。その辺のところをよくご検討いただかないと、美大からトラック、ダンプカーに載せて、どこをどうやって出ていくか。町会としましても、道路がないものですから、非常にどうするのかなということで迷っておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

**【村角都市政策局長】**

ご意見ありがとうございます。

細街路も後背地のほうにいろいろあることは承知しております。今、先ほど申し上げま



したように設計段階です。それから工事を発注し、業者が決まって、実際の工事に進んでいくわけでございますけれども、今ご指摘の点も踏まえて、どのような工夫ができるのか、どういった対策を取らなければならないのか、十分に詰めていきたいと思っております。工事の説明の際に、またその辺について改めてご相談させていただければと思います。

## (6) 市長まとめ

### 【村山金沢市長】

改めまして、大変熱心なご議論をいただきまして、ありがとうございました。

今日お話ができてよかったなと思うのは、大きく2点ございました。高齢化社会における地域活性化ということで、共通の課題としてご意見をいただいたことと、あと、俵の町会、連長さんのほうから人口減少の関係のお話をいただきました。これは本当に大きな議論だと思っています。

2025年に団塊の世代が75歳、後期高齢者になるということ。これはもう避けられないことでありますし、その後の社会をどうしていくか。よく担い手不足とも言われます。今日も議題にありました。これは、団塊の世代の後の世代が少ないから起きることでありまして、これを担いたいという人の意識を大事にしていくのも大事だし、担い手を省力化するというのも一つあるかもしれません。担うべき仕事を少なくするか、あるいは担い手を育成するか、その2つしか解決の仕方がないかなと思っています。

そういった中で田上地区から提案のございました全天候型の空間というところ。顔の見える関係を作っていくのがやはり大事なのかなと思いました。そして井戸端会議のようなというのは、金沢で言えば広見のようなところかもしれません。そういった顔の見える関係を作っていくって、これを多世代で行えるような場ができればと思っていました。

実は、老人クラブの運営をどうするかという話がありましたけれども、ほかの全国市長会などで会う市長から、早朝のラジオ体操の当番をどうするかという話がありまして、これは小学生に担わせたら面白いんじゃないかと。小学生が担っていくと、小学生は自分よりも年上の人たちがみんな集まってきて、何とていうか仕事をした、自分が役に立っているという充実感があるとともに、高齢者の方々は孫のような世代と常に話すことができるということの楽しみもあるんじゃないか。そんなこともありました。

それが現実的かどうかは別にして、あるいは活動する時間のこともありますが、多世代の交流の一つのヒントになるかなと思っておりました。

それとともに、人口減少の課題です。中山間地域の人口減少は、金沢でももちろんありますけれども、これが能登地域と違うところとしては、金沢の都心部もあり、様々な世代がいて、学生もたくさんいて、その中での人口減少を迎えるというところ。一つ大きな違いだと思っています。

今日の昼に、三谷のもっと奥のほうの東原に行ってきました。今日、東原ふれあい祭りを開催しております、東からは北陵高校さんともう10年以上の間、連携をしてつないでいるというような状況です。とてもいい取組だなと思っているんですけども。

金沢市でも、これまで雪かきボランティアというものがありましたけれども、雪かきだけでいいのかなというのは私の疑問点でした。雪が降ったときに雪かきしてもらうだけではなくて、ふだんからの体験、交流ができればよいと思っています。大学生は大学を卒業したら引退してしまいますけれども、大学のサークルであったりゼミであったりというのは長いこと残っていき、そこでの交流ができれば、地域のことを学ぶことができる大学生と、地域のために役に立ってもらえる地域、という関係ができると思います。大学生にとっても、これは学びの場になると思っています。

ふだんから、例えば地域の祭りに出してもらうとか、地域の食べ物を知ってもらうとか、地域を学習する活動というのをこれから広げていきたいと思っています、これは都市政策局のほうの課題でもあるんですけども、そのような展開はこれから生まれてくると思っています。担い手が少なくなってきたところを、地域だけではなくて、学生とどう連携し合うことができるかということこれから施策として進めていくことになります。

縦割りの話もありましたけれども、まさに都市政策局は横串のような役割を担っております。全体を見ながら、そして副市長、市長と一緒にしながら物事を考えていって、課題を共有していきたいと思っています。

現在、新たな都市像というのをつくっていますけれども、これは5つの基本方針があるんですが、その5つの基本方針を横串で刺す文化の取組、地域の活力の取組、デジタル化の取組、そういったものがありますので、そういったところを見ながら全体を把握するようなこと。それを市職員全体で行っていければと思っています。

最後に、今週月曜日、15日に天皇皇后両陛下が県立図書館を御覧になって、そこでお送りをさせていただきました。参加いただいた町会の方々もいらっしやと思います。

それから国民文化祭が始まって、まだ11月26日まで長いことあります。ぜひ今週25日の美大で行うポップアップコンサートもそうですけれども、町なかに出て行って、この機会

を生かしていただければと思っております。この美大についても、開放された空間ですので、ぜひこれからもお越しいただければと思っております。

今日のまちづくりミーティングのテーマと直接関係はしませんけれども、せっかくの機会ですので、ご案内させていただきました。

本日は本当にお忙しいところありがとうございました。